

さんぽみち

第30号

発行 岡山協立病院緩和ケア病棟

文責 桑原和美(病棟師長)

発行日 2018.5.30

岡山市中区赤坂本町8-10



お花見 4月3日



患者さま・ご家族の皆さん総勢15人が参加してお花見会をしました。

お琴の生演奏による「さくら」「早春賦」など季節の唄や、ボランティアさんの踊りを披露していただき、「東京音頭」や「花笠音頭」では会場も一緒になって手拍子で盛り上りました。



今年は開花が早かったので、お花見会の時は満開を少し過ぎていましたが、咲く桜・散りゆく桜の両方を楽しみました。(木村)



新緑のころ、清々しい季節になりましたが、日中は、すでに三十度を超える日が続いています。こまめに水分補給をするように心がけましょう。緩和ケア病棟では、「お花見・端午の節句」というイベントがあり、楽しい時間を、皆さん笑顔で過ごしました。

皆様、幸運が飛んでくる
蝶蘭の花言葉
ください
ぜひご観賞してみ



病棟ニュース

ナースエイドさんが育てた、
胡蝶蘭。華やかで上品な花が
見事に咲きました。
見てるだけで、清純な気持ちになります。



端午の節句 5月8日



病棟で端午の節句のイベントが行われました。今回は、患者様に金太郎になっていただき、皆で力強く、金太郎の歌を歌いました。また、こいのぼり・茶摘み等を手遊びしながら歌い、とても賑やかでした。



5月のお菓子といえば、なんといっても柏餅です。
お茶と柏餅のお膳に小さなかぶとの折り紙が添えられ、
5月の節句の雰囲気を感じながら、皆さんと楽しい時間
をご一緒することができました。(吉田)



看護活動の紹介

（緩和ケアチーム回診）

緩和ケアでは、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士といった多職種チームで一般病棟の患者様のところに回診に行っています。身体のつらい症状や、こころのつらさなど治療をし、緩和ケアチームが介入することで、症状緩和ができるよう活動しています。



（佐藤副主任）



新コーナー つぶやき



私はテレビドラマが好きで毎週決まったドラマを予約録画して楽しみにみています。その時間は夫や娘たちも、私に話しかけるのを控えてそっとしてくれています。ドラマに入りこんで泣いたり笑ったり、それがストレス解消になっているのです。今は、「正義の「セ」と「あなたには帰る家がある」の2本です。

一人で大笑いしている姿を想像してください。

怖いでしょう。（桑原師長）



私の幸せは6歳になる愛しの甥っ子と過ごす時間です。会うだけで笑顔とパワーをもらいます。この間TVで、人間の幸せは、人から「愛されること・褒められること・役に立つこと・必要とされること」、この4つで得られると言われており愛されること以外は、仕事で得られるそうですが、私は、甥っ子より、すべての幸せをもらっていると思うので感謝しています。（大野主任）



緩和ケア病棟に入院を希望される方がおられたら

まずは病棟の直通電話か相談室へご連絡ください。

担当者がいない場合は、折り返し連絡をさせていただきます。

- ①看護師がお話を伺い、緩和ケア外来を予約します。
(毎週火・金の午後、水・木・金の午前) 4月から増えました。
- ②外来受診までに、現在かかりつけの病院で紹介状を書いてもらい、FAXしていただきます。
外来受診時に、病棟の見学もしていただけます。

病棟直通電話：086(899)6006

遠慮なくご相談下さい。

「虹の会」のお知らせ



緩和ケア病棟へ入院された患者様のご遺族の会です。
次回開催：7月14日（土）

時間：10:30～12:00

場所：コムコム2階休憩室

5月は4名の参加がありました！